

推薦入試から特色選抜へ

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、これまでの**推薦入試の趣旨を今後も継承**しつつ、生徒が**主體的な学びに向かう力の育成**と中学校までの**基礎学力の確かな定着**を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。

現行の推薦入試の課題

沖縄県高等学校入学者選抜制度のあり方について（報告書）より
平成30年12月 沖縄県立高校入学者選抜制度改革に関する検討委員会

◆（現行推薦入試制度は）早期合格の手段としての傾向が強く、**本来の趣旨が活かされていない**との懸念

◆ **推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下**が見られ、一般入試に向けた学習環境に影響を及ぼすこともあり、義務教育段階の学習内容の確実な定着に課題

◆ 各中学校によって**推薦基準が異なることによる不公平感の指摘**

「特色選抜」の基本方針

①生徒が自ら出願できる

- ・ 学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す。

②生徒の特性や個性を伸ばす

- ・ 受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③学力検査を全員受検する

- ・ 義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。

④受検機会をこれまでどおり確保する

- ・ 現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。

※ICT活用を推進する

- ・ 出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。

年度(学年)	R3(小6)	R4(中1)	R5(中2)	R6(中3)
取組事項		「育成したい生徒像」の作成・配布	実施要項決定	R7 2月 実施
	説明会 ← 学校等関係者	説明会 ← 生徒・保護者	説明会 ← 受検希望者	

スケジュール
(予定)

特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -

県立学校教育課

